

運用計画書

協同組合横浜マーチャングデザインセンター

1 活動概要

当組合は、平成22年3月25日地域まちづくりルール認定、その後、平成24年7月13日には、地区計画決定に伴い、当地区の地域流通団地としての持続可能な発展をめざす環境基盤が整うことと相成りました。

しかしながら、大きな変動期にある流通系組合員企業の業況変化に伴う入れ代わりや周辺環境変化に対し引き続き運用面での協定遵守はますます強化していく必要性が求められています。海外企業が国内での事業実績がなく、直接当団地への進出を目論むケースについては、進出条件を定めることにより功を奏しその後の歯止めとなっています。今後の指針としては組合員企業社屋および共同施設の老朽化に伴う団地再整備計画の策定と共に地域に根差した商業流通のまちを形成して参る所存です。

つきましては、これまで協働で培ってきたまちづくりの環境を維持発展させ、競争力を持った良好な流通商業ゾーンを形成し、安全、安心でクリーンな街づくりを実現していくために、さらに認定期間の延長を申請したく、この段申請申し上げる次第です。

この推進にあたり、計画推進の核となる「幸浦MDC地区まちづくり協定運営委員会」を軸に設置するとともに、「広報紙」による組合員への周知、組合員全体会議及び横浜市等関係機関協議等を事業遂行してまいります。

- 1) 幸浦MDC地区まちづくり協定運営委員会： 当流通団地の事業環境における現状の問題点と将来にわたる流通商業ゾーン保全・発展にかかるまちづくりの方針並びにルールの運用を行う。(原則月1回程度開催)
- 2) 広報紙「MDC情報」： 上記委員会の検討内容を組合員企業に広報するとともに意見募集やアンケートを実施する。(3ヶ月に1回程度発行)
- 3) 組合員全体会議： 特別のテーマや総会提出議案の検討など必要に応じ開催し、意見交換を経て合意形成を図る機関である。
- 4) 横浜市等関係機関協議 都市整備局、金沢区、経済局、関係機関との協議を行う。

2 主な活動内容

- ・ 本協定運営委員会の開催
- ・ 組合会館及び立体駐車場等の大規模修繕工事の実施
- ・ 団地再整備構想のとりまとめ
- ・ 地域的文化的活動向上による団地の魅力づくり
- ・ 本まちづくり協定の運用
- ・ 組合員異動に係る業種業態の変化に伴う企業ニーズの研究
- ・ 企業別土地利用状況及び今後の計画等のアンケート調査
- ・ 周辺企業の進出による情報収集及び環境影響の研究
- ・ 広報紙「MDC情報」の発行（年3回）

3 スケジュール及び活動詳細

令和3年(2021年) 4～5月 組合員企業の施設変更ニーズの検討

- ・ 各業種・業態の動向把握、課題抽出
- ・ 団地内宅内污水管の清掃
- ・ 企業のまちづくりへの要望及び解決策の検討

令和3年(2021年) 6～9月 共同施設における施設改修工事の実施

- ・ 組合会館・立体駐車場改修の実施
- ・ 連棟建物グループなどの建築診断調査の実施
- ・ 広報紙「MDC情報」の発行
- ・ 団地内緑化運用方針の周知

令和3年(2021年) 10～12月 施設改修計画と施設維持管理の推進

- ・ 建築診断調査結果後の団地内企業のリニューアル推進
- ・ 先進事例等の研究、検討
- ・ 広報紙「MDC情報」の発行

令和4年(2022年) 1～3月 以降 団地再整備計画と協定の継続運用

- ・ 運営委員会による適正運用
- ・ 運用に関し今後の目標検討

以上